



令和元年度

## 第2回有田市コミュニティ・スクール連絡協議会



11月27日(水)午後7時より市役所会議室にて開催しました。市内の各学校運営協議会長が出席し情報や意見を交流する会です。教育委員会及び校長会からも代表者が出席します。

第1回の様子はコミュニティ・スクールだよりNo.2でお知らせしたとおりです。今回は、それぞれの会長さんが気になっていることを3つのテーマに分けて話し合いました。その内容をまとめて一部ご紹介します。

(以下、紙面の都合上、コミュニティ・スクールを「CS」と表記いたします。)

### CSの円滑な推進

- 何か活動するとき人集めが大変。メンバーが偏るといのも課題である。
- 様々な年代の人たちが関わってくれたら。
- 各種団体の長を通して、臨機応変に人集めをお願いしている。継続して人集めができるよう工夫していきたい。
- 前例にとられないほうが何かを発見できるし、新たなよいところが出てくるのではないかな。
- 前例にとられないチャレンジもいいが、前例があることで安心感が出る。学校や地域に合ったいろんなやり方で。
- 目的がぶれないようにするためには、初心に戻る。初めの気持ちが大事。
- 学校運営協議会は、地域のいろんな組織ともタイアップしていったらいいと思う。様々な活動を応援していきたい。



### CSの周知、連携

- 学校運営協議会のことは、関係者以外あんまり知らないと思うので、もっといろんな人に知ってもらいたい。
- 子供が関わっている活動なので、保護者にも分かるように周知していきたい。
- 学校が学校運営協議会をもっと使ったらいいと思う。授業をサポートする人集めが大変そう。保護者をお願いすることが多いようだが、我々もお手伝いさせてもらえると嬉しい。生徒の意見も聞いていきたい。

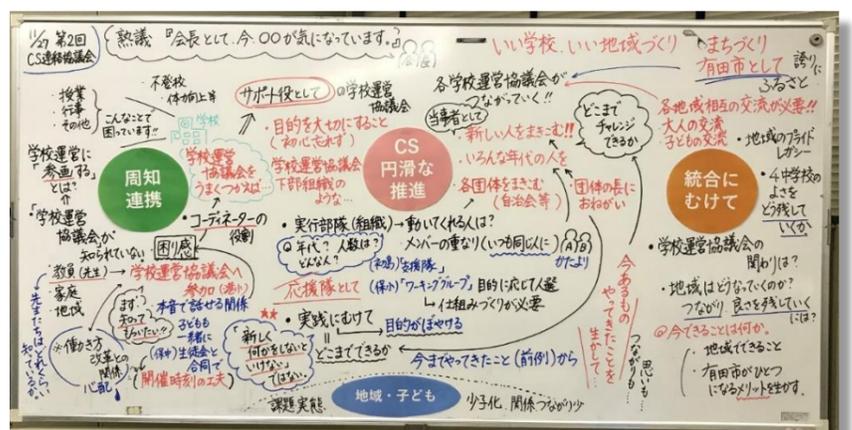


### 中学校統合とCS

- 統合中学校にとっても、ふるさと(各地域)にとってもよい形となるようCSを考えていきたい。
- 地域としてのレガシー(大切にしたい伝統)として、今の取り組みをどう残していくか。
- 統合後のCSとしてよりよい形を目指すために、今はそれぞれの中学校区で地域との連携をさらに深めておきたい。

最後に、今後の展望として、「できる範囲で統合に向けていい学校づくりを考えていきたい。子供たちが少なくなる中で、有田市に残りたい、戻ってきたいと思う、ふるさとを愛する子供に育てたい。そのためには、互いの地域の良さをもっと交流して有田市として地域に誇りを持つ子供になるよう取り組みを考えよう。まずは、我々学校運営協議会のメンバーから交流して行って、次のステップにつなげていこう。」という内容の意見が出されました。

互いの意見を認め合う雰囲気の中で、子供や地域、有田市のことを考えて活発な意見交流となりました。



【意見をメモしたホワイトボード】